

令和8年度（第2回）福祉局・保健医療局指定管理者評価委員会

<議事要旨>

1 会議概要

- (1) 開催日時：令和8年7月17日（金）午後1時30分から午後5時30分まで
- (2) 開催場所：都庁第二本庁舎31階 特別会議室26
- (3) 出席委員：石渡委員長、安保委員、亀岡委員、鈴木委員、田村委員

2 議 事

(1) 議 題

二次評価について

(2) 会議の公開

利用者のプライバシーを守るため非公開とする。

(3) 議事内容

施設所管部ごとに一次評価結果の説明後に質疑応答を行い、所管部退出の上、二次評価を実施

【[保健医療局] 医療政策部所管施設】

- 東京都リハビリテーション病院及び心身障害者口腔保健センターの一次評価結果が説明された。
- 東京都リハビリテーション病院では、紹介元医療機関との連携等によるリハビリ総訓練単位の前年度からの増加や都や各圏域と連携した事業等について報告がなされた。
- 委員からは、病院機能そのものは高く評価できる一方、労働生産性の向上と経営の適正化に向けた財務・人員構造の検証が必要であるとの意見があった。
- 心身障害者口腔保健センターでは、全身麻酔法や静脈内鎮静法等による安全で質の高い歯科医療サービスの提供や全身麻酔診療を2系統に増やしたことによる待機患者の減少について報告がなされた。
- 委員からは、地域の受け皿の育成と地域移行率の向上に向けた具体的な数値目標の設定及び体制整備の具体策が必要との意見があった。

【[福祉局] 子供・子育て支援部所管施設】

- 石神井学園、小山児童学園、船形学園、八街学園、勝山学園及び片瀬学園の6施設についての一次評価結果が説明された。
- 石神井学園、小山児童学園及び片瀬学園では、職員による不適切な対応が発生したことから、発生要因の分析や再発防止に向けた取組状況について報告がなされた。
- 委員からは、利用者支援における権利擁護や意見表明支援、スーパーバイズ体制の充実及び組織的な再発防止策の重要性について意見があった。
- 船形学園では児童主体の意見表明に係る取組や支援の質向上に向けた工夫について、高く評価する意見があった。
- 八街学園では児童の将来を見据えた就労体験や職業レディネステストについて、高く評価する意見があった。
- 勝山学園では環境美化活動等を通じた地域共生の取組について、高く評価する意見があった。

- 委員会では、不適切な対応の再発防止策、児童の権利擁護及び意見表明支援、自立支援の在り方、地域共生を主な論点として議論した。

【〔福祉局〕 障害者施策推進部所管施設】

- 東村山福祉園、七生福祉園、千葉福祉園及び八王子福祉園の4施設についての一次評価結果が説明された。
- 千葉福祉園では、職員による不適切な対応が発生したため、事案発生の背景や組織的に再発防止に取り組んでいることが報告された。
- 委員からは 利用者支援を行う職員らへのサポートの重要性に関する意見とともに、虐待防止に向けた取組を継続する必要があるとの意見があった。
- 東村山福祉園では強度行動障害支援に係る専門性向上に向けた取組について評価する意見があった。
- 七生福祉園では就労選択支援事業による利用者の社会参加支援について高く評価する意見があった。
- 八王子福祉園では利用者の地域移行支援実績について高く評価する意見があった。
- 委員会では、専門的支援の質の向上や重度障害者の地域移行、虐待防止に向けた職員支援をどのように行うかを主な論点として議論した。

- 東大和療育センター及び東部療育センターの一次評価結果が説明された。
- 東大和療育センターでは、多職種連携による医療・療育の提供や利用者の高齢化、重度化への対応について評価する意見があった。
- 東部療育センターでは、利用者ニーズに応じた取組や看護相談室の開設、地域開放事業を評価する意見があった。
- 委員会では利用者の高齢化、重度化への対応や地域支援の在り方を主な論点として議論した。

【総括・閉会】

- 委員からの意見交換を経て、各施設の二次評価が確定し、評価結果をとりまとめの上、公表することとして審議を終了した。